

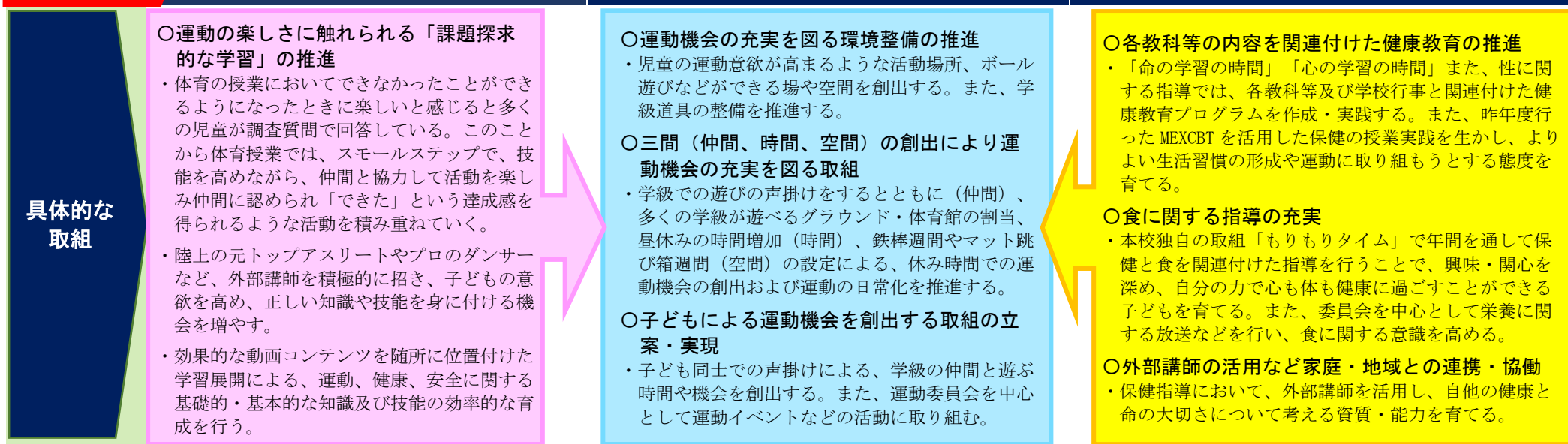
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：21015

学校名：宮の森小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは、上回った種目 握力、上体起こし、反復横跳び、 20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ、体力合計点 ○前回の記録より下回った種目 長座体前屈	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は、全国の男子の割合が72.7%、女子の割合が54.1%に対して本校の男子が75.5%、女子が55.6%と、男子も女子も上回っている。男女ともに運動やスポーツに対して、肯定的に取り組めるように、今後も達成感を得られる授業が大切である。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは、上回った種目 握力、上体起こし、20mシャトルラン、 50m走、ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、体力合計点	昨年度は体力向上加配を中心に、複数教師による指導の時間を増やすことができたため、体育授業中の子どもの実運動時間を今まで以上に確保することができた。昨年度より、多くの種目で記録が伸びている一つの要因と考えられる。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	・「運動やスポーツをすることは好き」と回答した子どもの割合 R6 男子 71.4% 女子 60.8% R7 男子 75.5% 女子 55.6% ・体育の授業は楽しいか と回答した子どもの割合 R6 男子 84.1% 女子 60.8% R7 男子 76.4% 女子 63.6%	体育の授業が楽しいと感じている男子の割合が低下しているが、「記録に挑戦したり、上がった、競い合ったりするときに体育が楽しい」と答えた男子の割合はR6で74.6%、R7では74.5%とほぼ同じであった。他者との比較のみに喜びを感じるのではなく、自己の伸びに喜びを感じられるような学びを授業の中でさらに価値付けることで、体育の授業が楽しいと答える児童が増えていくと考える。

三つの取組	①体育・保健体育等の 授業の充実	②授業以外で子どもの 運動機会を創出する取組	③子どもが自ら 健康の保持増進を図る取組
-------	---------------------	---------------------------	-------------------------



家庭・地域との 連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・がん教育や薬物乱用教室において、外部講師による指導を依頼する。 ・学校での学びを家庭でも生かせるように、陸上やダンスの外部講師を招いて学習する時に、保護者の参観を呼びかける。
------------------	---